
女優

HIRO.T

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

女優

【Nコード】

N6018E

【作者名】

HIRO・T

【あらすじ】

観る者を魅了するスクリーンの中の女優。ありきたりの脚本も、彼女が演じれば見惚れない者はいない。そんな噂を聞きつけて彼は友人と二人やってきた。

スクリーンに映る彼女を瞬きもせずに見る。

喜びに満ちた表情。

恥ずかしがる仕草。

見始めれば目を逸らすことなど考えられない。

ありきたりのラブストーリーなのに、彼女が演じれば甘く、切なさに涙が零れる作品になる。

相手男優の姿など目に入らず、彼女だけを追う。

「おはよう」

「待たせてごめんね」

「今日はどこに行く？」

彼女はスクリーンの向こうから唄うように語りかけ、問いかけてくる。

真剣に見つめる観客に。

自分に。

「えっ？」

「どうしたの？」

隣に座る彼女が上映中であることを気にしてそっと耳打ちした。

「……あ……」

忙しく彼女とスクリーンを見比べれば、双子かと思うほどそっくり同じ。

首を傾げる仕草も、考える時に小さな笑みを浮かべながら上目遣いになるところも同様だ。

「ねえ、どうしたの？」
「…いや……。あの…」

スクリーンでは懸命に彼を応援する彼女が映し出されていた。
精一杯の声援。

声が掠れてきていた。

そして絶叫。

隣の彼女がビクと身を震わせて腕に手を絡めてきた。

「ちよっ……」

顔を腕に押し当てられて熱を感じる。

(泣いてる?)

シーンは病院に移り、ベッドに突っ伏して泣く彼女の姿があった。
胸が締め付けられる。

シンクロするように隣の彼女もギュッと腕を握った。

「私、ようやくここに来ることが出来たの」

彼を思って遠くを見つめる彼女。

愛しい人の命が消えた場所をじっと見つめる彼女の頬に涙がこぼれ落ち、もう泣かないからという台詞で幕が落ちた。

暗闇の場内にエンドロールと共にラブソングが流れる。

いつまでも君の事をみているから

そんな歌詞に隣の彼女はもう一度肩を震わせた。

場内が明るくなっても、彼女はしばらく席を立たなかった。

余韻に浸っているのか、自分たちと同じようなカップルが何組かいる。そのせいか清掃に来ても急かされることはない。

それともこの映画の後はいつもこんな感じなのだろうか？

「大丈夫？」

声に反応して上向いた彼女の瞳は真っ赤だった。

思わず抱き締めて「大丈夫だから」と口にしていた。

「本当に？ いつも一緒にいてくれる？」

「約束するよ」

不思議と陳腐な台詞と思わなかった。

「　　噂通り、面白いバグだな」

モニタを眺めていた青年が、頭を掻きながら隣で同じような画面を見つめている友人に話しかけた。

それは最初に選択した好みの女性とデートをする事が出来るヴァーチャルマシンだった。

ありきたりどころか古いマシンなのだが、急に行列が出来るほど人気が出た。

それというのも一緒に映画を観に来ていた彼女がいつの間にか映画に出演している女優に代わり、相思相愛になればオマケのプロگرامを体験出来るからだった。

しかも一週間前まではそんなことはなかったというのだ。

そんな面白いバグがあるのか？と冷やかし半分にやってきた。

「バグじゃない。オレと一緒に居てくれる最高の女だ」

友人は夢見るように答える。

「疑似空間の、人間に作られた女に惚れてどうする？ 大した女優プログラムだとは思うがな」

捨てるように言って席から立ち上がろうとした肩を掴まれ、イスに戻された。

誰だ？と振り返ろうとしたが、後ろから柔らかく抱き締められて身動きが取れなくなる。

「今度は違うものを、観ましよう？ あなたはドラマチックな恋の方がお好みかしら？」

赤いマニキュアの指がマウスを軽快に操作した。

「どうぞ」

離れ際、女の横顔を見る。

あの女優だった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6018e/>

女優

2011年1月4日02時21分発行